

北海道岩見沢農業高等学校の行動計画（グローバル・アグリハイスクール宣言 Part II）

全国の農業高校の行動計画		学校において令和5年度に重点化する取組及び具体的方策		
「5つのミッション」	「8の行動計画」	行動計画の中で重点化する取組	目標達成期間	具体的方策
Ⅰ グローバル教育で人材を育てる学校	1 「生徒一人ひとりを一層輝かせ成長させる教育」を行います。	(1)アグリマイスター顕彰制度を推奨し、生徒の自主的・主体的な学習、資格取得等を推進する。 (2)情報化社会における情報リテラシー教育を推進する。	B	(1)学校農場を活用した農業クラブ活動を推進し深い学びを目指す。 (2)検定等合格率向上のため、授業での計画的な指導体制を確立し、事前学習を充実させる。 (3)農業の情報化に対応した様々な学びの場を提供する。
	2 「世界と日本をつなぐグローバル教育」を行います。	(1)グローバル教育を推進し、広い視野、国際感覚を持つ人材を育成する。	A	(1)リスク管理や生産履歴データの整備を行い、GLOBAL G. A. P. 認証の更新と農場運営改善を図る。 (2)GAP認証に準じた国際基準の農業を実践し、海外販売を目指す。 (3)ユネスコスクール加盟校（キャンディデート校）として、加盟校同士の情報交換を行う。
Ⅱ 地域社会・産業に寄与する学校	3 「地域農業の生産を支える教育」を行います。	(1)地域の農業経営のモデルケースとなるような取組を実践する。 (2)科学的視点とICTを活用したスマート農業・情報化に対応した学習を取り入れ、農業教育を推進する。	B	(1)GLOBAL G. A. P. やJGAP認証取得し、国際化や情報化に対応した地域のモデルケースとなる。 (2)地域や専門機関との連携を通して将来の地域産業を支える人材を育成する。 (3)花卉産業の消費拡大・飾る文化を構築する取り組みを推進する。 (4)市や協議会、大学と連携した課題研究を推進する。
	4 「地域の農業関連産業や6次産業化に寄与する教育」を行います。	(1)原材料生産から加工・流通まで一貫した食の安全・安心教育をととして地域産業に貢献し6次産業化に寄与する人材を育成する。	B	(1)HACCPやAFS認証制度に積極的に取り組む。 (2)地域課題を認識し、課題解決向け地域や企業との連携を図る。
Ⅲ 地球環境を守り創造する学校	5 「地球環境を守り、創造する教育」を行います。	(1)環境を守り創造できる人材を育成する。 (2)雪冷熱や地下熱等の自然エネルギー、バイオマスエネルギー利用の環境技術を実践する。	B	(1)家畜の糞尿利用・森林資源の有効活用を行うなどSDGsの観点に立った取り組みを実践する。 (2)農業基盤としての自然エネルギー技術の研究と開発に取り組む。 (3)GAPを通して環境保全に取り組む。 (4)みどりの食料システム戦略に沿った、2050年を見据えた取組を行う。
	6 「地域資源を活用し、地域振興の拠点となる教育」を行います。	(1)地域の児童を対象とした食農教育を推進する。 (2)関係機関と連携し、地域資源の活用をテーマとした課題研究を実践する。 (3)ヒューマンサービスを推進し、学校開放の機会や地域ネットワークを活用して交流や情報交換を積極に行える人材を育成する。	A	(1)地域の児童を対象とした「岩農食農塾」を充実させる。 (2)児童等の写生会や見学を積極的に受け入れる。 (3)岩農ショップ等への参加機会を有効に活用する。 (4)地域の特産物や未利用資源の活用をテーマにした課題研究に取り組む。 (5)産学官連携の切り花消費拡大プロジェクトを実施し、地域の花弁産業振興につなげる。
Ⅳ 地域交流の拠点となる学校	7 「Society5.0の時代に応じた教育」を行います。	(1)SSH成果を活かし、大学や企業と連携した取組を継続し、教員の資質を向上させ学習の幅を広げる。 (2)スマート農業の推進、ICTを活用した実践的なDX教育の推進、社会の変革に対応できる人材を育成する。	A	(1)大学や関係機関との連携により学科の特性を生かし、科学性を向上させる。 (2)開発局・土地改良区とのパートナーシップ事業の継続・充実によるICT活用によるDX推進。
Ⅴ 地域防災を推進する学校	8 「地域防災を推進する教育」を行います。	(1)被災地支援活動等をととして、地域防災への関心を高める。 (2)災害時の危険を認識し、状況に応じた行動ができるようにする。	A	(1)防災教育や安全教育として避難訓練や安全衛生教育講習を行う。 (2)危機管理マニュアル理解し徹底する。